



2013年12月3日
東日本旅客鉄道株式会社

～地域と首都圏がつながる場～

地域を応援する！地産品ショップ『のもの』秋葉原店がオープン

- 地域と首都圏がつながる場として、2014年3月に『のもの』2号店を秋葉原駅にオープンします。1階では地域の食品を取り扱う物販フロアを、2階では飲食フロアとして今回初めてとなる『のものキッチン』を展開し、地域の味覚や食文化にこだわったメニューをご提供します。
- 開業にあわせ、秋葉原駅構内の3箇所で開催します『三陸のものマルシェ』を開催します。その後も定期的に開催し、三陸ならではの商品の販売と三陸がもつ地域の魅力を発信していきます。
- 上野駅で地産品ショップとしてスタートした『のもの』はマルシェ、カフェなども同時に展開してきましたが、今回キッチンに展開を広げます。今後も、『のもの』は、地域の食文化を通じて、首都圏のお客さまに新たな驚きや発見、喜びを提供するブランドとして拡大していきます。

1. 『のもの』秋葉原店

(1) ショップ概要

- 店舗名称：『のもの』秋葉原店
- 開業日：2014年3月上旬(予定)
- 場所：秋葉原駅中央改札横
- 営業時間(予定) 11:00～21:00(物販)
7:00～22:00(キッチン)
- 運営会社：(株)ジェイアール東日本商事
- 店舗面積：165㎡(約50坪)
 - 1階 物販コーナー 82.5㎡(約25坪)
 - 2階 キッチン 82.5㎡(約25坪)

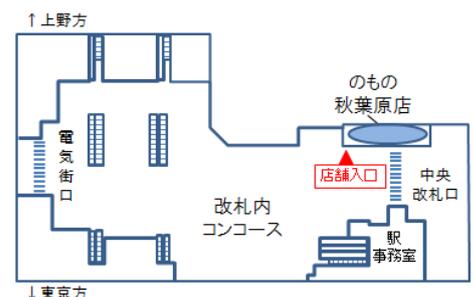


店舗イメージ

(2) ショップコンセプト

『のもの』は、地域と首都圏がつながる場として、地域の生産者とともに商品や地域の魅力を伝え、地産品の気軽な日用使いを提案してきました。『のもの』秋葉原店では、地域のこだわりのある食材や商品を気軽に楽しんで頂ける工夫を凝らし、様々な文化が共存する秋葉原で新たな食文化の発信をしていきます。

<ショップ位置図> 秋葉原駅1階コンコース



(3) ショップの特徴

○商品のストーリーを伝える売り場づくり

ランキング形式で商品をピックアップし、商品の作られる背景や歴史、地元ならではの食べ方を紹介するなど、東日本各地域の逸品の「選ばれる理由」が感じられる売り場にします。

○毎日訪れても飽きない、選べる楽しさを追求

各地域ならではのクラフトビールを 50 種類以上揃えたお酒コーナーや、定期的に変わるテーマにそった商品を幅広く集めるコーナーなどを展開し、お客さまが選べる楽しさを追求します。

○ショップデザイン

木のあたたかみが感じられる内装に、和の伝統工芸をディスプレイとして取り入れ、伝統・文化の魅力を発信します。外観は約 6メートルの高さの全面ガラス張りでショップの視認性を高め、人との交流を感じる空間を店外のお客さまへも発信していきます。

○マルシェを展開

店舗に連動する形で、秋葉原駅構内 1~3 箇所でマルシェを展開し、野菜、果物、工芸品等を取扱うほか、期間限定イベントも行ってまいります。

(4) 『のものキッチン』の特徴

○地域の食材をメニューに

『のものキッチン』は、地域の食材をよりふんだんにメニューに取り入れていきます。店内では各地域の食や旅行に関する情報発信を行い、くつろげる空間をご用意します。

○生産者の想いを込めた地域の食材へのこだわり

地域の生産者の想いが込められた食材にこだわり、より地域に密着することで新たな生産者の発掘を行っていきます。

○地域の食文化を‘食して’知る

各地の風土の恵みを受けた食材は、その地ならではの調理方法で食されています。『のものキッチン』では、そうした料理を都心のライフスタイルにあった、気軽で美味しく楽しめる形にアレンジします。地域の食材や料理の新たな可能性をオリジナルの料理でお楽しみいただけます。



1階 物販フロアイメージ



キッチンロゴイメージ



2階 キッチンイメージ

2. 『三陸のものマルシェ』

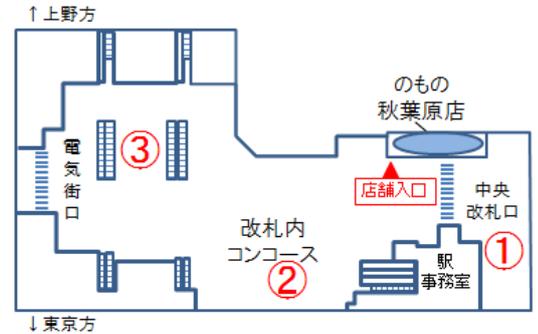
『のもの』秋葉原店の開業に合わせ、三陸の各市町村に焦点をあてた『三陸のものマルシェ』を、秋葉原駅構内の複数箇所で開催します。その後も定期的に開催し、三陸がもつ魅力を発信していきます。また、地元と連携して開発した、三陸ならではのオリジナル商品を『三陸のものマルシェ』や『のもの』で販売していきます。

『三陸のものマルシェ』

- 期 間：2014年3月、6月、9月、12月、2015年3月
各月3日間ずつ開催する予定
- 場 所：秋葉原駅1階コンコース(3箇所を予定)
- 時 間：11:00~20:00(予定) ※最終日は17:00まで
- 運営会社：(株)ジェイアール東日本商事
- 販売内容
三陸の市町村(八戸・釜石・石巻など)に焦点をあてながら、青森、岩手、宮城の産品を幅広く取り扱います。
- 地元とのコラボレーション

地域の未来を担う地元の水産・農工業高等学校と共に、『のもの』や『三陸のものマルシェ』に向けたオリジナル商品の開発を行う予定です。

<マルシェ位置図>
秋葉原駅1階コンコース



3. 『のもの』ブランドの展開

『のもの』秋葉原店のスタートにより、『のもの』ブランドは、すでに展開をしている常設店舗、マルシェ、カフェ、コーナーに、キッチンが加わりました。今後も、こうした取り組みを進め、お客さまの様々な生活シーンにおいて、『のもの』ブランドを展開していきます。

首都圏における「のもの」ブランドのひろがり

地域の多様な食文化を通じて、お客さまに新たな驚きや発見、そして喜びをお届けし、豊かなライフスタイルをご提案していきます

